

わが一子大五郎(仮名)、現在12歳8か月。ついに、中学生になった。なった、はずだ。うん、たぶん……。と思つてしまふのは、例の新型コロナウィルスの影響で、2月に1度あつた登校日以降、一度も中学校に足を踏み入れていないからだ。入学式も今年は中止となった。せっかく校歌をフルコーラスで覚えていたのだが、まあこの緊急事態下である。しかたない。

大五郎が入学した中学は某大学附属であるため、大学と共通のオンライン授業支援システムがある。これを活用して本格的なオンライン授業受講となったが、なかなか大変である。毎日オンラインで授業を受講し、ネット課題を提出せねばならない。当然ながら見落としも多く、親としてはひやひやしている。だが夫は「親がフォローしてくれるものだと思つてはいかん! 課題スケジュールを自分で管理するのも勉強のうちだ」と言い、まあ私もそうかと思ひ本人に任せることにした。一応、毎日やつているようではあつたが、ふと見ると親の目を盗んでパソコン画面を器用に切り替え、海の向こうの大きなお友達と戦車で対戦ゲームをしている!? ……慌てて確認したら、締切を過ぎた未提出課題がゴロゴロあつた。ああもう。

それにしても、わが家は夫も大学教員のため夫婦揃つて自宅でもオンライン授業、大五郎もオンライン授業の受講で、家族そろつてヘッドセットをつけて自宅にいながら頭の中身はそれぞれ違う学校に向いている。なんだろう、このゆるく間の抜けたデイストピア小説みたいな光景は……。そして、私が300人の大学生を相手にリアルタイム授業をしているというのに、大五郎は書斎に乱入して来て、「ママ! 中学の時間割はどこ?」などと言いながら、授業用のカメラに映り込んだりする。後日学生のリアクションペーパーには、「息子さん、かわいかったです」などと書かれてしまつた。文科省の推奨するオンライン授業の理想にはほど遠い、自宅授業環境の貧しさよ……。

《 続 く 》

◇水無田 気流 (みなした きりう)◇

1970年生れ。國學院大學経済学部教授。詩人、社会学者。本エッセイは「読売ウィークリー」で連載していた話の続編。地元ネタを中心に無宿渡世の母子生活をお届けしていきます。
・詩集『音速平和』(思潮社)中原中也賞
・詩集『2境(ぜつきょう)』(思潮社)晚翠賞
・評論『無頼化した女たち』(亜紀書房)
・評論『シングルマザーの貧困』(光文社新書)
・評論『「居場所」のない男、「時間」がない女』(日本経済新聞出版社・筑摩書房)

子育て
コンビニ編



「ホームスタート」だより



いつの間にか季節は春から夏に移りましたが、目に見えない新型コロナウイルスの動きをじっと見守る厳しい毎日が続いています。子育てをしているご家庭、とりわけ小さなお子さんを育てている方々にとって、これほど大変なことは今までありませんでした。こんな時だからこそ、家庭訪問型子育て支援の役割がますます重要になってくると思います。

ホームスタート・みたかでは、3月末までは訪問にあつたの細かい注意を守り活動を続けましたが、緊急事態宣言後は活動を休みしていました。

その間、ホームスタートをこれまで利用した方、利用中の方には、メッセージを添えて子育てコンビニ通信をお送りしました。ビジターさんの訪問時に色々話ができ、それを聞いてもらったことが、子どもとともに歩んでいく新しい人生のスタートにつながったなど近況を知らせる嬉しいお手紙をいただきました。

5月30日には、ホームスタートを全国規模で取りまとめているホームスタート・ジャパンの総会が、Zoom利用で開催されました。参加者が100名を超えるリモート会議となりました。今年度は、産前産後、就学児家庭、多胎家庭、外国にルーツを持つ家庭などへも支援の幅が少しずつ広がっていくようです。

緊急事態宣言が解除され、6月から様子を見ながら、ホームスタート・みたかも活動を再開しています。ウィズコロナの新しい生活様式の中での活動は、制限が多いものとなりますが、電話、メール、SNSなども活用しながら、子育て家庭に寄り添えるよう努力していきたいと思っております。



＜利用者募集＞

ホームスタートは、就学前のお子さんがいるご家庭にホームビジターが訪問し、お話をしたり一緒に育児や家事をする新しい形の子育て支援活動です。利用は無料です

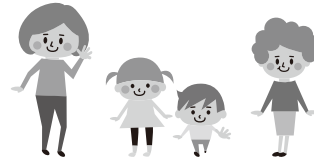


初めての子育てで不安…、下の子が産まれて大変…、わがままにイライラしちゃう…、越してきたばかりで地域のことがわからない…、誰かと話したい…子育てがうまくいってそうなママ友にはちょっと話しぶらい…こんな風に思うことはありませんか。

ビジターがおはなし聴きますよ。一緒にお料理したり絵本を読んだり遊んだり、また、一緒に公園や親子ひろばに行ったりというお出かけもOK! ビジターは、子育て経験があることを基本条件に、のべ40時間もの講座をしっかりと受けた地域の先輩ママたちです。

ビジターがママ達にできることは、「傾聴」と「協働」を軸にママと子どもさんと一緒に時間を過ごしサポートすること。

一回2時間程度、週一回ペースで計4回、ご自宅に伺います。ベビーシッターや家事代行はできません。



子育てコンシェルジュのご紹介

NPO法人子育てコンビニ(ホームスタート・みたか)の事務所には、平日10～15時「子育てコンシェルジュ」という名のスタッフが常駐しております。ちょこつとおしゃべりをしに、お茶を飲み、子育て情報をゲットしに寄っていきませんか?

ホームスタートの詳しい利用方法もご説明します。また、市の相談窓口への相談はちょっとハードルが高いかも…と思う方も来てみてください。階段のある2階なので、インターホンで呼んでいただければベビーカーを上階にあげてお手伝いしますよ。お気軽にどうぞ!

ご利用やお問合せは以下まで

ホームスタート・みたか(NPO法人子育てコンビニ)
三鷹市上連雀3-4-1 ロマネスクビル
(古本カフェ・フォスフォレッセンス)2階

開所時間: 平日10時～15時

☎0422-41-7021 メール: info2@kosodate.or.jp

